

魚価（浜値）の向上

（水産課）

1 目 的

消費者の魚離れによる消費の減少や大漁時における値崩れにより、魚価（浜値：漁業者の手取り価格）が低迷していることから、販売チャンネルの拡大や地魚情報の提供、魚食普及活動などにより地魚の消費を拡大するとともに、小魚などの未利用魚を有効活用する加工場整備への支援やブランド力の強化により、魚価の向上を図る。

2 事業内容

（1）販売チャンネルの拡大

○「ふくいの地魚」消費拡大推進事業

- ・福井の地魚に関するガイドブックを作成し、県内外の量販店等に配布して販路を開拓
- ・地魚利用の少ない奥越や丹南地域の鮮魚店で取り扱う魚を、他県産から地魚へ転換するための体制整備に対して支援を実施

（2）地魚消費量の増大

○「ふくいの地魚」消費拡大推進事業

- ・「さかなの日」設定によるPR活動や、地魚供給体制の整備に対して支援を実施
- ・小学校や公民館において魚さばき方教室等を開催するとともに、学校給食に旬の魚を提供し、幅広い世代への魚食普及活動を展開

○水産加工施設総合振興事業

- ・大漁時の魚価の値崩れを防ぐとともに、小魚などの未利用魚を有効活用するための水産加工施設の整備に対して支援を実施

（3）ブランド力の強化

○福井の宝「越前がに」グレードアップ事業

- ・一定基準を満たす「越前がに」を「プレミアム越前がに」としてブランド化し、高級品を扱う市場等へ出荷
- ・解禁に合わせた大都市圏でのPR活動や企業とタイアップしたプレゼントキャンペーンにより、越前がにの需要を拡大

○「越前・若狭のさば」振興事業

- ・魚商組合が実施する国産サバを用いた焼きさばなどの加工品製造およびPR活動に対して支援を実施